

一心生者萬法

生顛倒之善果

非允業在天之

靈光活現通天

地人心之真矣

正受惠端



この人なくして白隠なし

平成29年度飯山市美術館特別展

正受老人

SHOJU ROJIN

と

HAKUIN ZENJI

白隠禅師



2017.8/2 水 - 9/10 日

会場：飯山市美術館
開館時間：9:00 ~ 17:00
(入館は 16:30 まで)

休館日：毎週月曜日
入館料：大人 600 (500) 円
小中学生 400 (300) 円
※() 内は 20 名以上の団体料金

公開
正受老人の
自画像と
絶筆

主催：飯山市教育委員会
協力：臨濟宗妙心寺派・花園大学歴史博物館・一般財団法人正受庵保存会
後援：信濃毎日新聞社・北信ローカル/リふれ・北信濃新聞社・SBC 信越放送・NBS 長野放送・TSB テレビ信州・abn 長野朝日放送・公益財団法人八十二文化財団・飯山商工会議所・信州いいやま観光局・飯山市芸術文化協会・株式会社テレビ飯山

右 / 正受老人 (道鏡慧端) 頂相 道鏡慧端自画像 江戸時代 (18 世紀) 文京区・永青文庫
左 / 隻履達磨図 白隠慧鶴自画像 江戸時代 (18 世紀) 下伊那郡下條村・龍巖寺
撮影：第一スタジオ 堀出恒夫 提供：花園大学国際禅学研究所

この人なくして白隠なし

正受老人 と 白隠禅師

SHOJU ROJIN と HAKUIN ZENJI

白隠禅師(1685—1768)は「臨濟宗中興の祖」と称され、禅宗史はもとより日本美術史においても高く評価されています。その白隠を北信濃の正受庵で厳しく指導し、正しい悟りに導いたのが正受老人(道鏡慧端、1642—1721)です。白隠が明和5年、84歳で亡くなったから250年遠諱にあたる今年、臨濟宗妙心寺派、花園大学歴史博物館の全面的なご支援ご協力のもと、

正受老人が生を受け、修行に明け暮れ没した地、飯山において特別展『正受老人と白隠禅師』を開催いたします。

本展においては、東京・静岡・長野県内の寺院等17か所から正受老人と白隠ゆかりの貴重な遺墨を借用し、飯山市の正受庵所蔵のものと合わせて50点を紹介します。

なかでも、正受老人自筆で現存する遺墨は二点のみとされていますが、今回、初めて一緒に展示されることは特筆に値します。これら二点とは、「正受老人(道鏡慧端)頂相(永青文庫所蔵)」と「正受老人(道鏡慧端)墨蹟 遺偈(正受庵所蔵)」で、前者は自画像、そして後者は亡くなる直前に書かれた絶筆です。

また、この自画像と弟子である白隠と中野不白それぞれが描いた「正受老人(道鏡慧端)像」合わせて三点も同室に展示します。

このほか、白隠筆の「古剣銘」は現在、金地院(東京)に三幅、正受庵(飯山)に六幅と二分されていますが、今回、一堂に公開できることや、正受老人の父親である松代初代藩主「真田信之像」を菩提寺の大録寺(長野市)より拝借展示できることも大変意義深いと感じています。

AI(人工知能)等の著しい進歩や情報化、国際化の進展など、私たちは目まぐるしい変化の中で生きることを余儀なくされています。それだけに正受老人の生き方が、ここに改めて、私たちの生活に問いかけるものがあります。

今回の特別展が、全国の多くの方々に正受庵、そして正受老人を知っていただく機会になればと考えています。また、特別展の開催前と開催中に講演会も決定しておりますので、併せてご案内いたします。



6

飯山市文化交流館「なちゅら」にて講演会開催

飯山市公民館事業・飯山雪国大学文化講演会
細川護熙講演会
演題：「一日暮らしという生き方」
時間：13:30～15:00(開場 13:00)
※駐車台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。

7/22
(土)

入場無料

臨濟宗妙心寺派・飯山市教育委員会共催事業
特別展記念講演
講師：西村恵信(花園大学名誉教授・元学長)
演題：「正受老人と白隠」
時間：14:00～17:00(開場 13:30)

8/19
(土)

入場無料



交通：JR飯山駅下車徒歩約10分
※新幹線↓東京駅から約1時間50分
長野駅から12分



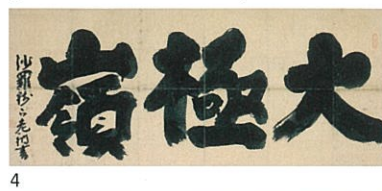
1



2



3



4



5

1 正受老人(道鏡慧端)像 中野不白 江戸時代(18世紀) 飯山市・正受庵 2 蓮池観音図 白隠慧鏡自画像 江戸時代 宝暦7(1757) 飯田市・大雄寺 3 大応・大燈・関山像 白隠慧鏡自画像 江戸時代(18世紀) 塩尻市・大貫寺 4 白隠慧鏡墨蹟「大極宿」 江戸時代(18世紀) 上伊那郡飯島町・西岸寺 5 白隠樹下坐禅図 白隠慧鏡自画像 江戸時代 明和2(1765) 飯田市・龍翔寺 6 雙蓮達磨像(3幅のうち) 白隠慧鏡自画像 江戸時代 宝暦7(1757) 下伊那郡松川町・瑞應寺

※2・3・4・5・6は、撮影：第一スタジオ 堀出恒夫 提供：花園大学国際禅学研究所

飯山市美術館 TEL・FAX0269-62-1501
長野県飯山市大字飯山1436-1
URL <http://www.city.iiyama.nagano.jp/>